

エコトピア



第9号

contents

活動のご報告	2
環境フォーラム湖東の 未来を考えるワークショップ ひっつきおし調査活動	
特集	4
行政の取り組み	
E-Column	6
会員のすがお	7
彦根市おやじの会	
井戸端掲示板	8

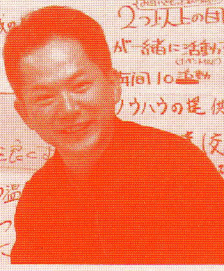


ふりがえり、よりよい活動へ

環境フォーラム湖東の未来を考える ワークショップの様子

3月9日（金）に開催した、今年度の環境フォーラム湖東の活動をふりかえり、5年後の目標を検討したワークショップの様子を紹介いたします。

参加したのは環境フォーラム湖東の理事・運営委員です。参加率は全体の42%でした。



ファシリテーターを勤めてくださった岐阜県にある森林文化アカデミーの八尾 哲史さん

ワークショップの目的は？

フォーラムの3年間の活動をふりかえる
中期目標をたてる
来年度の計画をつくる

はじめに八尾さんから今回のワークショップの目的の確認や、心がまえについてのお話がありました。

そのための心がまえ

- L**isten 聴く
- O**pen 開く
- V**oice 語る
- E**njoy 楽しむ

最初の想いの評価

環境フォーラム湖東に参加するときに期待したことを思い出し、その思いが今どれくらい達成されているのか、点数をつけました。

0点

50点

100点

何か出来る事がないか？

行政との清掃活動の輪が広がること
(意識も含めて)

碧い琵琶湖をとりもどそう

びわ湖

課を横断した行政との協働

以前からの流れで入った何か他のグループの役に立てれば

環境団体をつなげてよりよい環境教育を広げる

協働(共同)

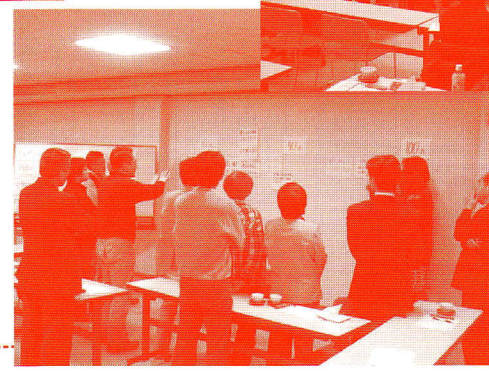
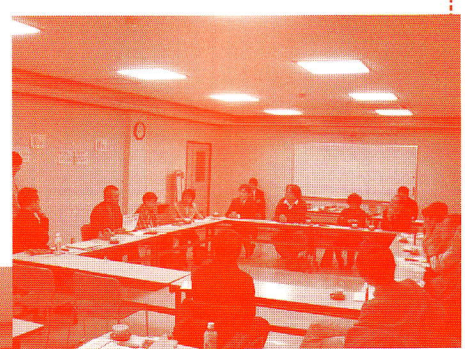
測定値のパソコン化

活発な活動の場の提供

楽しく、活発に新しいモノ(活動)を生み出すこと

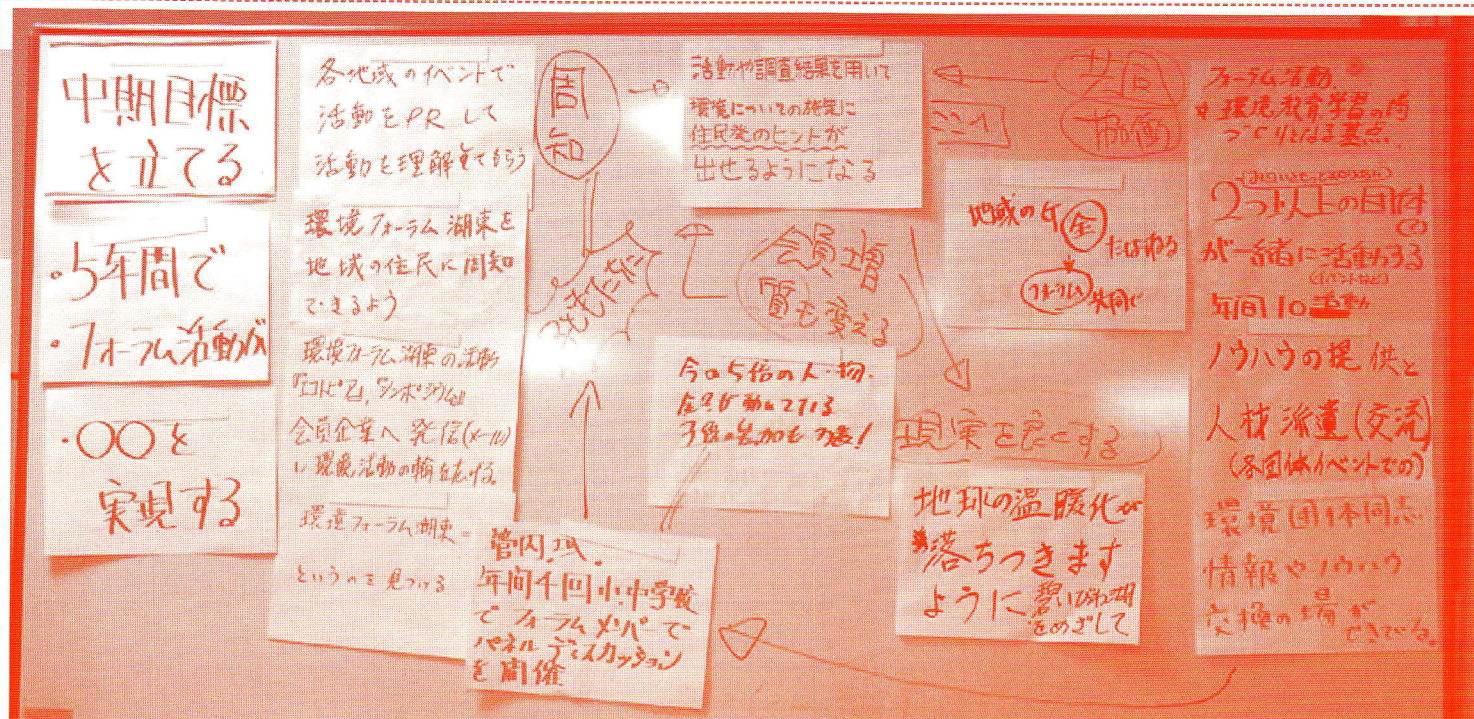
管内の環境保全のような形で参加できるか

地域がごみのない美しいところになるように



想像していた以上にみなさんの点数が低く、環境フォーラム湖東のこれからの運営を真剣に考えなければいけないという気持ちが高まりました。

※このワークショップの報告書はファシリテーターの方によりまとめられます。



中期目標をたてましょう 環境フォーラム湖東が今後5年間で目指す活動目標の案を考えました。これを基に平成19年度の事業計画案を作成していきます。

ひっつきむし調査活動

本年度の環境フォーラム湖東の調査活動班では、植物のひっつきむし調査を行ないその経過を報告いたします。

■本年度の生き物調査について

環境フォーラム湖東では、平成18年5月の総会において、新しい運営委員も決まり本年度の活動がスタートしました。本年の調査対象に何をするのか迷いましたが、子供の頃よく遊んだ記憶があり、野原や公園を歩いていると衣服に良く引っついて困ったことのある「ひっつきむし」、このひっつきむしを探し観察する事によって、身の周りの植物がどんな知恵をしぼりながら子孫を増やしているのか考えるひとつになってくれるものと願い本年度の調査対象とする事に決めました。

■ひっつきむしの調査票作成

調査票の作成にあたっては、細分化することよりも形の良く似たものどうしを集めた属類で調査し、また実物の絵図を載せる事によって、誰にでも簡単に見分けができるようにと作らせていただきました。

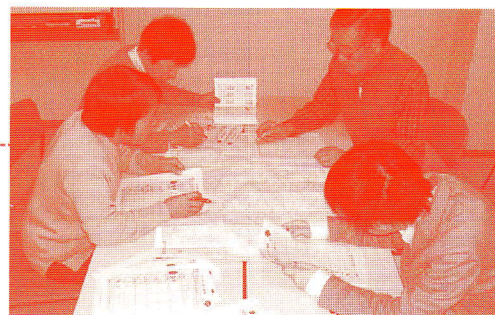
■調査開始！

夏休み期間中から調査期間中にかけて、各学校や公的機関、環境団体、一般の方たちに調査票を配布し調査への参加を呼びかけさせていただきました。

調査期間が、調査報告書作成の時間的制限もあり、ひっつきむしの良く分かる秋後半ではなく9月初旬から10月末にせざるを得なかったのが少し残念ですが、たくさんの方たちに参加していただきありがとうございました。

■報告書ができました

調査結果の集計作業では、何度もグループで集まり苦労しましたが、なんとか調査事業報告書を作成する事ができました。詳しい結果は、本年発行の「調査研究事業報告書2006」をご覧ください。



調査実施期間：平成18年9月初旬から10月末
 調査参加者数：67名＋八木荘保育園
 調査地点数：125地点

行政の取り組み

～甲良町グリーンファイターズ編～

地域の環境を考えるきっかけとなるのが自然体験活動。身近な自然や他地域の自然を体全体で感じることで、自然の面白さや素晴らしさ、大切さを学ぶことができます。

そこで今回は、甲良町教育委員会が、町内の小学4年生を対象に1年を通してさまざまな自然体験活動をおこなっている、甲良町グリーンファイターズの取り組みについて伺いました。

いろいろな地域の自然をカラダいっぱい感じよう！

■「グリーンファイターズ」ってなに？

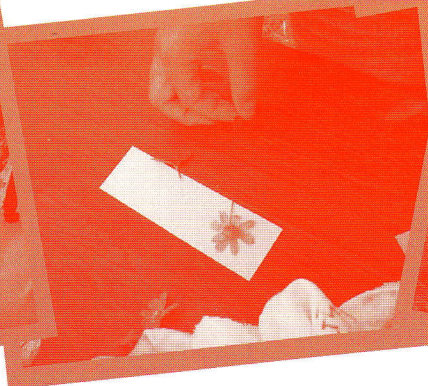
毎年、甲良町内の小学校（東・西小）の4年生を対象に隊員を募集し、自然観察や環境学習について学習する団体です。子どもたちの自然体験不足や理科離れという問題が取り立たされてもう長くなりますが、グリーンファイターズの活動をきっかけに、隊員の子どもたちがさまざまな体験を通して自然の美しさやおもしろさに気づき、実感・感動するきっかけづくりの場となるようにと考えています。また、甲良町は犬上川を中心として周りが田園で囲まれた自然豊かな地域です。その美しい自然に親しみ、いつまでも守っていこうとする人づくり、そして「ふるさと甲良」への愛着をもっていけるようにも努めています。

■グリーンファイターズの活動

グリーンファイターズは年間12回の活動を行います。活動日は学校の休業日（土曜日や夏

休み期間）を利用して、月1回のペースで開催しています。運営には教育委員会社会教育課が中心となり、環境教育支援団体「わのたね」のみなさん、町内の青年ボランティアの方々と協力しながら活動を進めています。

活動テーマは地域の自然観察をはじめ、県内外の各施設を利用した自然体験・環境学習、秋には町内の子どもたちを対象にした体験活動のイベント「小さい秋 見つけた！」の中で、これまでに学習してきたことを活かして自然遊びコーナーを隊員自らが企画・運営します。



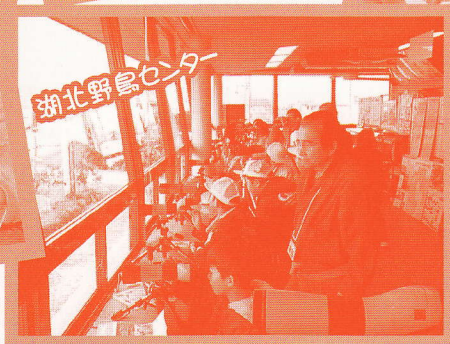
「小さい秋 見つけた！」で子どもたちが企画したあそびコーナー

■子どもたちの様子（1年間の活動のふりかえりから）

- ・今までのグリーンファイターズではいろいろなこと・不思議なことをたくさん学んで、自然と直接ふれあいながら、他の学校の人たちとも少しだけ仲良くなれた気がします。それにこのグリーンファイターズに入って少しだけ自然のことが好きになった気がしました。
- ・行ったことのないところへ行けたのでよかったです。
自然が豊かな場所がたくさんあって、いろいろな生き物を生で見れて楽しかったです。自然の大切さなどがもう一度よくわかりました。
心に残るよい活動だったと思います。本当に楽しかったです。
- ・自然は大切にしなければならない。だから自然を大切にしたいと思います。
自然の力はすごいなと思いました。



平成18年度の活動内容例



身近な自然とふれあうだけでなく、いろんな地域の自然にふれることで、自分の地域の特徴を知ることができます。

1年を通して、仲間と一緒に、学校だけでは体験できない、たくさんの自然や人とのふれあいがある活動。

行政と地域がつながることで、よりよい体験が広がりますね。

一人一人が気づき 行動しよう

暖かい冬が続いています。彦根では平均気温が今までになく一番高いそうです。

地球温暖化が云われて何年になるのでしょうか。少しは温暖化が緩和されたのだろうか。

などと人ごとのように思っている人々が多いのでは？

環境の変化は動物の生活にも起こって来ています。里山において来て田畑を荒らし、人間の生活に支障をきたしてきています。

空気 水 森林 土 地球に住むあらゆる生き物、人間も含めて共に生きられる自然環境を守り、次世代に引き継がなければと思います。

私たち「快適環境づくりをすすめる会」では、「うるおい」や「やすらぎ」のある快適な環境を創り育てていくため、市民の環境への意識を啓発することを目的として発足し二十数年が経過してきました。

"自然と仲良くしながら楽しもう。"

快適環境づくりをすすめる会
副会長 藪野光子 氏
(環境フォーラム湖東運営委員)

"毎日環境のことを考えないといけない。でもおもしろいことですね。"

"自分の出来ることが何かある。一人一人が努力することが必要ですね。"

などと話し合いながら、自然観察会、環境研修会、夏休み子ども標本づくり講座 などの活動をすすめています。

活動の日時、内容は彦根広報に発表されます。皆さんの参加をおねがいします。



環境キャラバン隊とは？

今1人ひとりがどんな小さなことからでも実践しなくてはならない地球温暖化対策。現在私たちが活動している「環境キャラバン隊」は環境普及啓発のため、一般市民を中心に結成したグループです。会員はそれぞれ環境団体に所属し、活動している人たちです。

活動内容を一部紹介すると、地球儀を使つての空気の層の説明、地球温暖化のメカニズムや、排気ガス中の二酸化炭素についての説明、温室効果を見る実験、省エネ電灯比較実験、それに加え、家庭で今すぐ出来る身近な温暖化対策(取り組み実践)などをおこなっています。

今すぐできる身近な温暖化対策としては、例えば、「冷房の温度を1℃高く」、「暖房の温度を1℃低く」設定すると年間31kgの二酸化炭素の削減になり、それによる電気代などが約2,000円節約できます。また、「週2日 往復8kmの車の運転を

愛のまちエコライフ文化推進会議
堤 昭子 氏
(環境フォーラム湖東 運営委員)

やめる」と、年間なんと185kgの二酸化炭素と約8,000円の節約になります。それに「待機電力を90%削減」すると、年間87kgの二酸化炭素の削減と約6,000円の節約になります。

パワーポイントを活用して、みんなで知恵を出し合い、二酸化炭素の削減に向けて、各自治会、子ども会、老人会、その他団体に広く推進活動を実施中です。



彦根市おやじの会

この会は、われわれおやじたちが、子どもたちに信用できる地域の先輩・人生の先輩として、学校や地域の場で、子どもたちとふれあい、語り合い、認め合いながら、地域ぐるみで子どもたちの健全育成に寄与することを目的としています。

彦根市の父親を中心とした、親睦・ふれあい・奉仕を信条とする会員で構成され、協力スタッフ（女性）も構成員に含まれます。



- おやじは、母親に任せがちな子育てを、仕事人間にならないように家庭生活を見直し、子どもの目線にたって子育てをすることを努力する。
- おやじは、自分の子どもだけではなく、地域の子どもを守り、育てるように努力する。
- おやじは、PTA活動だけではなく、地域にしっかりした居場所作りや、活動の場作りをすることを生きがいとする。
- おやじは、子どもたちを取り巻く様々な問題を取り除き安全・安心に暮らせるように努力する。
- おやじの活動に一人でも多く参加していただけるようにおやじたちのネットワーク化を図り、連携を深める



活動内容の紹介

街頭パトロール（高宮花火大会・彦根港花火大会・年末パトロール等）

環境教育（環境フォーラム湖東参加・環境シンポジウム模擬店参加・環境教育研修会）

親睦会

活動内容はまだまだこれからですが、皆で楽しく仲間を作り、子どもたちの支援活動を広げて行きますので、参加・入会をお待ちしています。

環境フォーラム湖東

新規会員募集

環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています。

すでに環境に関する活動をされている方やちょっと環境の勉強してみたいという方、企業・市民団体のみなさんまで、どなたでも参加していただけます。

まずはお気軽に、下記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

年会費 個人／1,000円
団体／3,000円

子どものころの
感動をもう一度…

会員になると…

- 情報交流誌「エコトピア」や「フォーラム通信」などにより環境フォーラム湖東が発信する情報を定期的に得ることができます
- ご自分が行なわれている活動の紹介やイベント情報などを環境フォーラム湖東を通して発信することができます
- その他にも会員のみなさんが行なう自主事業の支援を行っていきます

■ 会員の皆さんへ

環境フォーラム湖東ではみなさんからの情報をお待ちしております。

イベント情報や普段の活動の様子などを情報交流誌「エコトピア」または、「フォーラム通信」、ホームページに掲載いたしますので、「他の人にも伝えたい」という情報がありましたら、下記事務局までご連絡ください。



■ 広告掲載を希望される方へ

本誌に広告を掲載して下さる方を募集しております。

広告料：1区画（80mm×45mm）5,000円

詳しくは下記 事務局までお問合せください。

環境フォーラム湖東 事務局

- 〒522-0071
- 彦根市元町4-1 湖東地域振興局環境課内
- TEL 0749-27-2255
- FAX 0749-27-1688
- URL <http://www15.ocn.ne.jp/~foramkot/>
- E-mail dc43@pref.shiga.lg.jp

編集後記

3年間の活動をふりかえったことは、4年目以降の環境フォーラム湖東のさらなる飛躍に向かってとてもよいきっかけとなりました。今後もどんどん新しい挑戦を続けたいですね。（山田）

- 発行 環境フォーラム湖東
- 編集責任 環境フォーラム湖東広報部会
- 平成19年3月発行